

日本を支える建設業界で働く人のためのフリーペーパーマガジン

〈特集〉安全帯の意義とは?

今年の人気はコレ!!
最新ワークウエア

こんなのが欲しかった
便利アイテム紹介

オンナのホンネ
現場女子が語る

創刊

架橋

[かけはし]



表紙モデル

◀ 写真提供
(きた・ひろかず)
36歳。大阪府在住。関西
多工業・代表取締役。職歴
18年。趣味はジェットスキ
ー、愛車はキャデラック。

~FOR NEXT GENERATION WORKERS~ スポニチ

ハーネス装着率は高いです

義務付けしなくても

現場での安全带使用について、三和建設大阪本店次長・是津(せつ)宏樹(あき)さんに話を聞いた。

三和建設大阪本店次長

是津宏樹さんに聞く

現場での安全带使用の規定についてお聞かせ下さい。

是津 高さ2m以上では安全带装着、2m掛付けを100%義務付けています。鉄骨とびについてはハーネス装着を推奨しています。

ハーネス装着は義務付けされてはいないのですか？

是津 義務ではありませんが、職人さんの安全への意識というのが高まっており装着率は高いです。

これまで貴社で高所作業での落下事故はありましたか？

是津 人の転落事故はありません。ただ、落下事故はありま

いい現場作りは「工程管理8割」だと…



「職人さんの安全意識は高まっている」と話す三和建設・是津さん

安全確保できる環境作りが事業社の役目

た。最近では、脚立から飛び降りて骨折というのはありましたが、これは2m以下での事故です。

例え安全带を装着していても、取り付けされていないと意味がありません。

是津 その通りです。例えば、安全带を掛けると作業する場所に届かないとか、掛け直さないと連続作業ができないなど、職人は作業効率が落ちるのを嫌います。また、決められた工程でいかに作業を進めるかという中、安全装置がない場合でもその日の作業を行ってしまう場合があります。決して安全を無視して職人も作業している訳ではありません。使わないにはそれなりの理由があるということです。我々事業社としては、いかに作業効率を落とさずに、安全を確保するための環境作りをするかだと思っています。

そのためにはどうすればいいのですか？

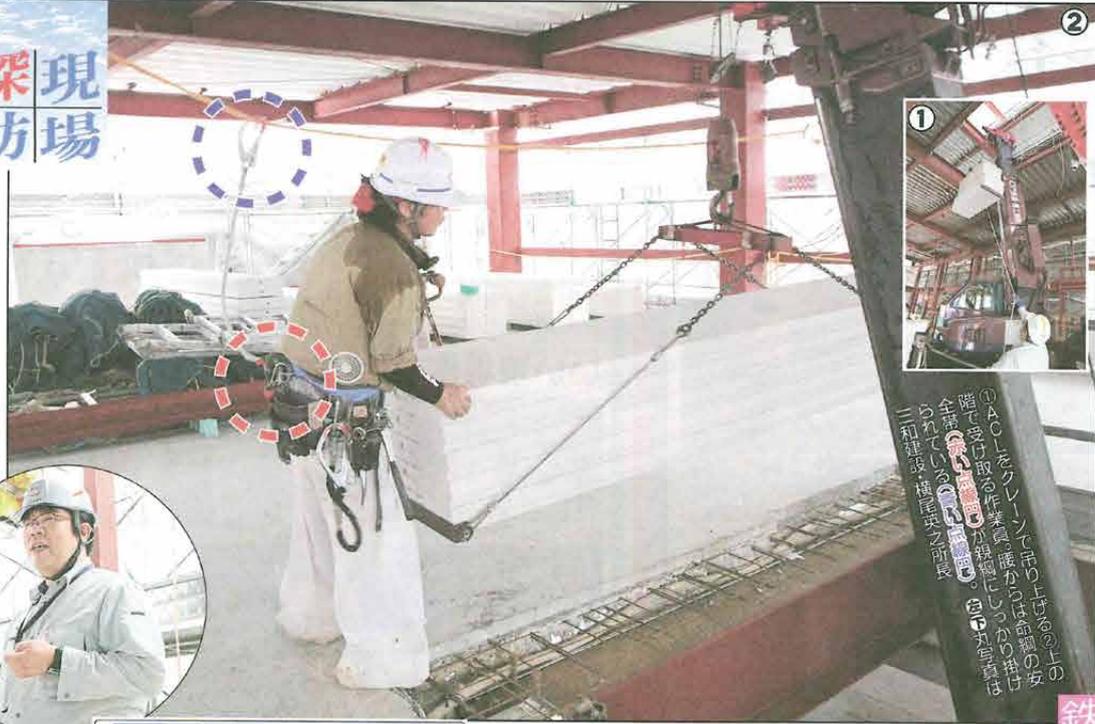
是津 いい現場作りは「工程管理8割」と言われています。

現場・仕事をよく分かっていること、事前に作業者とコミュニケーションを取って計画し、良い環境作りをすることだと考えています。

すぐ裏の線路がプレッシャー

現場探訪

大阪タケナカ事務所建て替え工事第1期



① AOCをクレーンで吊り上げる②上の①を受け取る作業員、腰からは安全帯の安全帯が揺れ、③安全帯は全着している。④安全帯は三和建設 横尾英之所長



三和建設・横尾英之所長 「万が一、電車を止めたら…」

「本日の作業は？」
「外壁材のACL搬入がメインとなっていて、搬入口は手すりを外し、経路をつくらないとはいけません。そのため上陸で受け取りをする作業員は親綱に安全帯を掛け」

「現場で気を付けた点は？」
「すぐ裏に線路が走っています。当初よりそこへの安全配慮はこの現場の課題でした。万が一何か起こって電車を止めてしまうようなことがあってはならないというプレッシャーはありました。」



入社2年目の杉本由衣さん。換屆作業も仕事です

女性施工管理・杉本由衣さんQ&A

—女性の現場管理の方は珍しいと思いますが、きっかけは？
 小学生の頃、家のリフォームを見て建築に興味を持ちました。家が移動する(※曳家のこと)のに感動しました。—実際に現場に入って感じたことは？
 建設現場は資材などの物があふれていると思っていましたが、実際に現場に入ると人ばかりでした。人が建物を造っているのだなとその間感じました。
 —女性だから有利な点、不利な点を教えて下さい。
 女性なのでやはり力が足らない点です。でも、女性だからだと思いますが物を運ぶ時とかは周りの人に手伝ってもらえます。あと、現場では近隣の方からよく声を掛けてもらっています。まだ、女性の現場は珍しいのだと思います。
 —施工管理希望で入社されたようですが？
 はい。改善したいと思っていました。ものを建てていくのが好きです。特に鉄骨の現場が好きです。
 —何か改善して欲しい点がありますか？
 現場の夏服がっかりしています(笑)。冬服はまだいいのですが、通勤の時もそのまま来るので、もう少しオシャレなデザインに変わってほしいです！
 将来は、同社女性初の現場所長となることに期待しましょう。

鉄骨の現場が好きです。でも…夏服はがっかり(笑)

()日々続く安全への取り組み

取材に訪れた日は、台風が接近しているということもあり日差しは強くなかったが、現場は蒸し暑さがあった。台風準備のため忙しい中時間を割いていただいたことに感謝したい。当日は、クレーンを使用している搬入作業ということもあり緊張感のある現場だった。それでも安全周知の張り紙が少ない「クレーン重機への立ち入り禁止区域の周知が甘い」など同席いただいた上司から横尾所長が指摘を受ける場面もあり、安全への取り組みは日々続くのだと感じた。